

登下校時に大地震が起きた場合の対応について

分団会等で子どもたちに以下のように話をしております。ご家庭でも一度ご確認ください。

1. 通学分団で集合しているとき、又は歩行中に、大地震(立っていることが困難な揺れ)が起きたら、まずは各自で安全を確保します。

- ・ 倒れるかもしれない物(ブロック塀や電柱など)、加えて、落ちてくるかもしれない物(窓ガラスや電線、看板など)から離れます。
- ・ ランドセルなどで頭部を保護し、身を低くします。
- ・ ハンドルを取られた車が突っ込んでくる場合があるので、車道には出ません。

2. 揺れがおさまったら避難します。原則以下の通りとします。

地震遭遇地点	避難場所
集合場所または自宅～集合場所まで	それぞれの自宅へ
登校途中	原則 学校へ
下校途中	原則 自宅方面へ

※大地震が起きた場合の話なので、原則通りにいかない場合も考えられます。

3. 原則通りにいかないとき

- ・ 上級生を中心に、分団のみんなで落ち着いて、安全を確保することを考えます。
- ・ 自宅へ戻っても、家族がおらず家に入れない場合が考えられます。その場合には、近くの知り合いや友達の家など、大人がいる安全なところへ避難します。単独行動はしません。
- ・ 登校途中に大地震が起きた場合は、原則は学校へ向かいますが、集合場所からすぐの場合や道路が通れない場合など、学校へ行くことが難しい時には、自宅方面に戻ることも考えます。
- ・ 下校途中に大地震が起きた場合も、登校時の場合と同じように、学校へ戻ってきたり、大人の助けが借りられるなら、近くの安全な一時避難場所(公園や空き地など、建物に囲まれていない場所)に避難したりします。

ぜひ、ご家庭や近所、同じ分団の人などと、大地震が起きた場合の避難の仕方や避難場所、避難経路、連絡の取り方など、防災について話し合ってみてください。